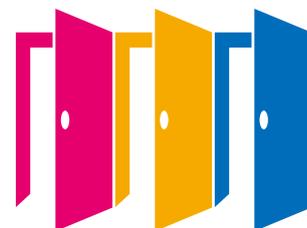


Governor's
MONTHLY
LETTER 2020

12

Rotary
District 2750



Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く

ガバナー月信

12月号



Governor's Message

国際ロータリー第2750地区
2020-21年度ガバナー

福原 有一

2050年カーボンニュートラル、 脱炭素社会の実現を目指すことを、 ここに宣言いたします

早いもので令和2年もあとひと月。ガバナー就任から半年が経とうとしています。コロナ禍でのスタートはこれまでのやり方を変えていくものとなりました。私を支えてくださったスタッフの皆さん、そして、これまで86クラブ（パシフィックベイシングループを除く）を数えたガバナー公式訪問を、工夫しながらスムーズに迎えてくださった各クラブの皆さん、心より感謝申し上げます。

さて、「2050年カーボンニュートラル…」はご承知のように菅首相の所信表明演説の一節。ガバナーメッセージでお伝えしてきたロータリーの新しい重点分野である「環境の保全」が国を挙げてのテーマとなりました。日本は脱炭素社会へ向けて舵を取ったのです。けっして自慢している訳ではありません。それほど身近に迫った課題だということです。さあ、菅首相という味方も増えました。私たちロータリアンはできることから始めましょう。

プラスチックは大変便利な合成樹脂で、生活を支えるあらゆる製品に使われています。そしてまたレジ袋やストロー、フオーク等、身の回り品として大変便利なものです。しかしそんな便利な合成樹脂にも問題があり、石油で作られたプラスチ

ックは、放置すると半永久的に地球上で分解されずに残り、今や年間約800万トンもゴミとして海を漂っているそうです。このままでは2050年に魚の量を超えるのではとされています。また5ミリ以下のマイクロプラスチックは魚や貝類に取り込まれ、それを食べる私たちの体内にも蓄積されるのではと心配されています。日本では今年7月からレジ袋が有料となりましたが、世界では既に使用禁止の国が40カ国以上もあります。

世界では3R運動が始まっています。Reduce, Reuse, Recycleの3Rを言います。Reduceはマイバックやマイ箸の利用でレジ袋や使い捨て食器の削減、Reuseは瓶やボトルの洗浄再利用、そして、Recycleはプラスチックを分別回収し原料としての再生利用が代表的です。リサイクルを除いて、どれもほんの少しの個人の行動や意識の変化から始められます。そこで皆さんとご一緒に3Rを実践しようと、ガバナー公式訪問でお話をしたリサイクルPET素材で作ったエコバックをプレゼントしています。ぜひ、ご活用ください。

さて、12月といえばクリスマス。サンタクロースがソリに乗って世界中の子供たちへプレゼントを配って回ります。一年に一夜、プレゼントが届く、子供たちが待ち焦がれる日が来ます。事情があって届かず悲しい思いをする子供たちもいるでしょうが、それもこれもひっくるめてこのアイデアは素晴らしい。そして私たちロータリアンの夢は世界を平和にして、疾病や貧困で悲しい思いをする人々を無くすこと。年に一度だけではありません。毎日私たちが実践している奉仕活動の目標です。

もうすぐ新年を迎えますが来年は丑年です。丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前触れ(芽が出る)」を表す年だと言われています。2021年も新型コロナウイルスでまだまだ耐える年になるでしょうが、人生は「塞翁が馬」(牛でないのは残念ですが)です。つらいことの後には嬉しいこともあるでしょう。まだはつきりしていませんが、オリンピック、パラリンピックをはじめ楽しいこともきっと続きます。皆さまどうぞ良いお年をお迎えください。



ポリオ根絶の現状とお願い

ロータリー財団委員会・ポリオプラス委員会 委員長 柳 邦明 (東京愛宕RC)

2020年、世界は未曾有の新型コロナウイルス禍に巻き込まれています。ポリオプラス委員会も昨年度の数ヶ月は活動できず、新年度も活動がままならない状況が続いています。そのような中で、今年度のポリオプラス委員会のスローガンは「ポリオ根絶に向けたアドボカシー活動を進める」です。アドボカシー活動とは、さまざまな課題に対してキャンペーンや広告活動を通して知識を深め、一人ひとりの行動に結びつけるための活動です。

さて最近のニュースでは、8月25日に「アフリカ地域で野生型ポリオウイルス根絶が宣言される」との朗報が届きました(写真1)。これで野生型のポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタンの2カ国になりました。

また、10月に発売されたTIME誌の「世界で最も影響力のある100人」の特集で、ナイジェリアポリオプラス委員長のツンジ・フンショ氏が選ばれました(写真2)。ロータリーの活動が世界に認められ、脚光を浴びたという意味で嬉しいニュースでした。



▲写真1



今、世界はコロナ禍に見舞われ、ポリオ根絶どころではないとの声が聞かれます。そういう声が上がるのは当然とも言えます。1985年からポリオプラスプログラムは開始され、35年経った今でも野生型ポリオウイルスの根絶に至っていません。しかしロータリーは3月に声明を出しており、その中で「ポリオとの闘いに対してロータリアンが強いコミットメントを保ち、これまでの成果を水の泡としないことが何よりも重要です」と言っています。今やめってしまったら、これまでの努力が報われません。ぜひとも皆さまのご寄付とアドボカシー活動へのご協力をお願いいたします。

ナイジェリアポリオプラス委員長のツンジ・フンショ氏は次のように言っています。「確信を持って言えることは、ナイジェリアで野生型ポリオウイルスを根絶できるのなら、どこの国でも可能だということです」。同様にインドでポリオ根絶を宣言したことは奇跡だと言われています。衛生状態も良くないあのインドでポリオが根絶されたのなら、パキスタン、アフガニスタンで根絶できない訳はありません。

ポリオに罹患すると麻痺した身体は元には戻りません。足が麻痺した子どもたちは歩くのにも苦労します。呼吸する筋力が麻痺してしまえば、呼吸することができなくなり、1960年代には鉄の肺と呼ばれる人工呼吸器に入らなければならない時がありました。福原ガバナーが掲げるバリアフリー・マインドの精神に則り、同じ目線でポリオ罹患者に寄り添うことが必要だと思います。

自身がポリオ患者でもあるポリオの会の丸橋達也氏(写真3)は卓話で、「私が考えるポリオ根絶とは、この世にポリオ患者がいなくなることです」と仰っていました。彼は今自分にできることを真摯に行っています。私たちロータリアンも、自らできることをするだけだと気づかされました。



最後になりますが私たちは、たくさんの方のロータリークラブにお伺いし卓話を通じてポリオ根絶に取り組むロータリーの活動状況をご説明しています。ご興味がある方はポリオプラス委員会(polioplus2750@gmail.com)までご連絡をお願いいたします。また7月からメールマガジン「ポリオプラス通信～ポリオのない世界へ」を毎月15日に発行しています。こちらはロータリアンだけでなく、一般の方たちにも読んでいただきたいとの思いから、アドボカシー活動の一環として取り組んでいます。よろしければ、ぜひ登録をお願いします。

<https://www.mag2.com/m/0001692155>



年間の月間テーマ

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
● 会員増強・新クラブ結成推進月間	● 基本的教育と識字率向上月間 ● ロータリーの友月間	● 地域社会の経済発展月間 ● 米山月間	● ロータリー財団月間	● 疾病予防と治療月間	● 職業奉仕月間	● 平和構築と紛争予防月間	● 水と衛生月間	● 母子の健康月間	● 青少年奉仕月間	● ロータリー親睦活動月間



「私のバリアフリー・マインドシリーズ」⑤ 「バリアフリー・マインド」を基に

山の手西グループ ガバナー補佐 菅野 達之介 (東京目黒RC)

福原ガバナーとご一緒に山の手西グループのほぼ全てのクラブとの懇談会・卓話に、3か月間同行訪問させていただきました。卓話に参加した皆さんは、ほぼ40分にわたる、ガバナーの熱い情熱とロータリー愛に感動されていました。

そこには、ガバナーの「バリアフリー・マインド」の発想の原点、思い、伝えたいことが、きちんと整理され述べられていました。支援してきた鎌倉児童ホームでの子供たちとの触れ合いの中で時間をかけて築き上げられた考え方、それが「バリアフリー・マインド」だったのです。上から目線ではけっしてなく、やさしく同じ視点に立って子供たちに接する、そんな大事な姿勢がほとぼり出てくる言葉でした。だからこそ「バリアフリー・マインド」についての福原ガバナーのお話を聞いたロータリアンの皆さんが「そうだ」「そうだよ」と心から納得し、「ロータリーの目的」や「四つのテスト」と重ねながら、奉仕活動の原点を再認識できたのではないのでしょうか。

戦争になぞらえると、現在の山の手西グループが置かれている状況は、COVID-19との消耗戦だと思っています。戦争が始まったのは春、そして夏・秋と続いてきました。これから勝つのか・負けるのか、収束は何時なのか、まだまだ見えてきません。この間ロータリーの各クラブはオンライン例会（ZOOM等）の開催に取り組むなど工夫を重ね、9月中旬からは感染症対策を織り込んだ「少し形を変えた」例会が広く開催できるようになっています。

ただ、奉仕活動は、参加者や会員の安全・健康を考えて中止あるいは延期となり、奨学生たちも早期帰国や1年間の延期となってしまいました。それでも負けずに、例会が開催できない分の余剰金を活用して医療従事者にマスク、医療用防護服、ゴーグル等を贈るクラブも出てきています。

周年記念行事も10年・30年・50年と予定されていたクラブが多くありましたが、そのほとんどが中止・延期・規模の縮小となりました。でもこんな大変な時期にもかかわらずオンラインで記念例会を開催したクラブもあります。英知を集めて乗り切る、あるいはここで力と資金を貯め、次年度に新型コロナウイルスの感染収束が見えてきた段階でフル稼働させる等々、ここがロータリーの団結力の見せどころと考えています。

朝の来ない夜はない！ 力を合わせて頑張りましょう。





コーディネーターニュース 2020年12月号

第2地域ロータリーコーディネーター 水野 功 (東京飛火野 RC)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2020年12月号 No.1
NEWS
発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

コロナ禍の中でのロータリーの魅力

2020年は歴史的な1年になりました。東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に4000万人のインバウンドで国内は賑わはずでした。新型コロナウイルスの出現によって目論見はもろくも崩れました。緊急事態宣言が出るということは誰も予想してなかったことです。「不要・不急」を避ける日常となり、人との距離は「ソーシャルディスタンス」を維持する毎日になりました。

そういう中で、ガバナーの皆さんは、エレクト時代の「PETS」「地区研修協議会」はじめ「公式訪問」「地区大会」などご苦労が絶えない年度になりました。クラブ会長の皆さんは、クラブ例会を中止せざるを得ない未経験の事態で面食らったことでしょう。例会再開は感染対策を実行して行われています。多くのクラブでオンラインを活用し、中にはハイブリッドで実施しているクラブもあり、様々な対応をされています。

私は久しぶりの再会例会に出席した時に抱いた気持ちは「ロータリーはいいな」というものでした。人とのつながりに距離を置いた時期の後、ロータリーの仲間と出会い、語り合う時間を共有することの温もりに嬉しさを感じました。ロータリーの魅力は、人と集うことにより繋がりを持つということ。そこには多様な人々が集まる中、ロータリーの「超我の奉仕」という哲学を共有する安心感があります。ロータリーは「不要・不急」ではなく、「豊かさの存在」と実感しています。

コロナ禍の中でロータリーの魅力を高めるクラブ運営についてご提案したいと思います。

- ・例会卓話は、外部講師を呼びにくい中、会員卓話を中心だと思えます。是非ご自身のPR（仕事や趣味など）に活用しましょう。
- ・親睦活動は、飲食を伴う会合が困難です。アウトドアでのプログラムにしましょう。例えば、ゴルフ、野球、ハイキング、サイクリングなど如何でしょうか？
- ・奉仕活動もアウトドアで検討しましょう。青少年奉仕、国際奉仕、社会奉仕それぞれ知恵の出どころだと思えます。

「出席なければ親睦なし。親睦なければ奉仕なし」これは青森県のあるロータリークラブのスローガンです。例会が楽しく、親睦で友情が高まれば奉仕活動がより活発になると考えます。コロナに負けず、ロータリーの魅力を高めていき、会員の退会を防ぎ、新入会員を増やし、活力あるクラブにしたいものです。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 庄司 尚史(境港RC)

ロータリーのブランドを強化しよう。

今年7月の第一地域、第二地域、第三地域の合同による公共イメージ向上に関する、地区公共イメージ委員長を対象にしたアンケート調査を実施しました。「地区内のクラブの何%がブランドリソースセンターを利用していると思いますか」の問いに「10%~30%」と回答した地区がほとんどでした。ブランドリソースセンターのツールやテンプレートを使えば、ロータリー全体で一貫性を保ちながら、クラブや地区用にカスタマイズされた資料を作成できます。ロータリーの新しいデザインやイメージを取り入れた資料をつくるには、オンラインの「ブランドリソースセンター」がお勧めです。ブランドリソースセンターを利用するにはまず、My ROTARYへのログイン（初めての方はアカウント作成）が必要です。

多くのクラブや地区がもっと、ブランドリソースセンターを活用することで、最終的には、あらゆる媒体でロータリーの正しいビジュアルアイデンティティを一貫して使用することで、ロータリーの公共イメージやロータリーに対して人々が持つイメージが格段と良くなると思います。

ロータリーでは、2011年からロータリーの認知度を高めるためにブランドの構築に力を注いできました。その結果、ロータリーの認知度は全世界で60%から75%にアップしました。しかし、ロータリーがどんな団体なのか、どんな活動をしているのか、知らない人が多いことが最近の調査で分かりました。

地元でクラブのあることも、世界的なボイオ根絶活動についてもあまり認知されておりません。仲間を増やし、奉仕の輪を広げ、地域や世界により大きな貢献をしていくには、ロータリーの公共イメージを向上させる必要があります。

ロータリーへの理解を深めてもらうために、2017年に「世界を変える行動人」キャンペーンが始まりました。

・ロータリーとは何か ・ロータリアンとはどのような人びとが ・ロータリアンの活動はどのような成果をもたらしているのか ・ロータリーは他団体とどう違うのか
このキャンペーンは、さまざまな形の広告を通じて、「行動人」としてのロータリー会員の姿にスポットを当てるものです。

ロータリーのブランドは、ロータリーが「どのような団体か」を表すと同時に、「どのような団体でありたいか」を映し出すものです。ロータリーはさまざまな国や文化、職業のリーダーのネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会で行動をしています。強いブランドがクラブにもたらすメリットには、ロータリーの活動に対する人びとの理解を深めることや、会員、ボランティア、協力団体、寄付者が増えるなど、また、ロータリーの認知度が高まり、会員の意欲が高まる、そして、ロータリーへの参加者の基盤が広がることなどです。ロータリーブランドを強化することは、人びとがクラブやプログラムを通じた経験、またはロータリーについて見たり聞いたりしたことや写真に基づいてロータリーを認識します。ロータリーブランドの強化を支えることは、会員一人ひとりの責務でもあります。即ち、全会員がロータリーブランドの力強い推進者になることです。

「世界を変える行動人」キャンペーンを推進するため、ブランドリソースセンターからのリソースや資料を利用することが、ロータリーのブランドを強化しクラブの活性化へとつながります。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 山下 皓三(鹿児島西RC)



文庫通信 (384号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

手続要覧の日本語版は、宮脇富バスターガバナーが「Manual of Procedure」を「手続要覧」と訳され、ロータリーの友1955年2月に掲載されたのが最初だそうです(詳細は下記2編を参照)。最初の英語版は定かではありませんが、1920年版から収録されています。手続要覧も少なくとも100年の歴史があるということで、国際ロータリーの歴史と共に手続要覧の構成、内容も変化してきました。何のため、誰のためのものなのか、という視点で読み比べることも一興です。例えば、構成面で1984年、2013年の手続要覧が大幅に変更されています。変更の理由には、興味深いそれなりの歴史的背景があるようです。

手続要覧を読む

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
手続要覧を読む	重田政信 高崎北 R.C	友2006-09	1P	※
手続要覧(手続要覧)日本語版	手島知健・宮脇富訳	友1955~1956	83P	※
ロータリーの歴史年表(2020年6月改訂版)	諏訪昭登 広島西 R.C.	2020	12P	※
国際ロータリーの挑戦	松宮剛 D.2820地区大会記念誌	2020	6P	※
異論・正論 ロータリーを語ろう	久野薫 神戸東 R.C	2020	128P	※
ロータリー違いをもたらそう ROTARY One Difference	江崎柳節 小牧 R.C	2020	137P	※
Guy Gundaker から学ぶロータリー 改訂版・「A Talking Knowledge of Rotary」の世界	鈴木一作 寒河江 R.C.	2020	62P	※

- ・ 前回に続き、RI 理事会議事録2020年4月英語版、6月英語版を文庫HPにUPしました。日本語版(私訳未公開)の閲覧をご希望の方は、ロータリー文庫までご連絡ください。
- ・ 上記 ※印はデジタル化されている資料です。

お問い合わせ
ロータリー文庫
ウェブサイト www.rotary-bunko.gr.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3階
Tel.03-3433-6456 Fax.03-3459-7506

ロータリー文庫ウェブサイト
文献の閲覧は会員限定になります

ロータリー文庫検索サイトで文献を閲覧するには、ログインパスワードが必要になります。利用方法は、①検索画面で文献を検索、②検索結果から閲覧したい文献の項目「※」をクリック、該当PDFのリストが表示されます。③「●●.pdf」リンクをクリック。ログイン画面が表示されます。④ユーザー名とパスワードを入力すると、PDFが閲覧できます。ユーザー名、パスワードは各ガバナー事務所を通じてクラブに送付いたしております。

この記事は、各クラブへの「ガバナー月信 配信版」でご参照ください。

★国際ロータリー第2750地区会員数報告(10月分)★

District 2750 Membership Report October 2020

G	クラブ名	例会	会員数			G	クラブ名	例会	会員数			
			20年7月1日	20年10月末	増減				20年7月1日	20年10月末	増減	
千代田グループ	東京南	3	184	190	6	山の手西グループ	東京自由が丘	4	16	17	1	
	東京芝	4	56	58	2		東京米山友愛	4	35	36	1	
	東京新橋	3	56	55	-1		東京米山ロータリーE クラブ2750	2	34	34	0	
	東京赤坂	4	45	47	2		東京代官山	2	28	28	0	
	東京みなと	4	32	33	1		東京八王子	5	63	64	1	
	東京麻布	2	15	16	1		東京町田	2	57	57	0	
	東京グローバル	3	20	20	0		東京日野	4	34	34	0	
	東京サンライズ汐留	4	16	16	0		東京八王子西	4	111	109	-2	
銀座日本橋グループ	東京銀座	4	180	181	1	多摩南グループ	東京町田・中	2	28	28	0	
	東京日本橋	3	204	207	3		東京八王子東	4	32	34	2	
	東京築地	4	69	68	-1		東京八王子南	4	78	78	0	
	東京日本橋東	3	41	42	1		東京町田サルビア	5	35	36	1	
	東京中央	5	203	206	3		東京飛火野	4	22	22	0	
	東京日本橋西	3	45	45	0		東京町田東	4	30	29	-1	
	東京銀座新	4	79	80	1		東京八王子北	4	43	43	0	
	東京シティ日本橋	5	38	38	0		東京立川	4	119	122	3	
	東京中央新	4	56	61	5		東京小金井	4	38	37	-1	
	東京あけぼの	3	20	20	0		東京国分寺	4	32	33	1	
京浜グループ	東京山王	4	36	36	0	多摩中グループ	東京三鷹	2	42	38	-4	
	東京羽田	3	55	55	0		東京昭島	2	55	54	-1	
	東京品川	4	41	42	1		東京国立	3	47	47	0	
	東京大森	5	35	39	4		東京立川こぶし	4	87	89	2	
	東京品川中央	4	30	30	0		東京井の頭	3	23	24	1	
	東京田園調布	4	48	48	0		東京昭島中央	4	48	48	0	
	東京港南マリーナ	3	18	18	0		東京武蔵国分寺	3	42	42	0	
	東京大崎	3	24	24	0		東京小金井さくら	5	25	26	1	
	東京蒲田	4	59	64	5		東京国立白うめ	3	17	17	0	
	東京京浜	3	26	26	0		東京ピースウィングE	5	23	23	0	
	東京田園調布緑	2	18	18	0		東京府中	4	55	55	0	
	東京白金	3	24	28	4		東京調布	4	64	64	0	
山の手東グループ	東京高輪	2	23	22	-1	多摩東グループ	東京多摩	3	20	21	1	
	東京西	4	197	197	0		東京狛江	4	14	13	-1	
	東京城西	4	67	71	4		東京稲城	5	28	28	0	
	東京西南	4	44	44	0		東京武蔵府中	4	39	36	-3	
	東京原宿	4	17	16	-1		東京たまがわ	2	20	19	-1	
	東京杉並	4	41	40	-1		東京多摩グリーン	2	29	29	0	
	東京神宮	4	24	24	0		東京調布むらさき	4	66	67	1	
	東京恵比寿	4	117	117	0		東京iシティ	2	18	18	0	
	東京広尾	4	24	24	0		パンパシフィックグループ	Guam	5	52	53	1
	東京渋谷	2	35	37	2			Saipan	4	40	42	2
東京六本木	4	53	53	0	Tumon Bay	2		59	59	0		
東京愛宕	4	31	31	0	Northern Guam	2		31	31	0		
東京世田谷	4	44	45	1	Pohnpei	4		18	19	1		
東京目黒	4	33	34	1	Palau	2		14	16	2		
東京成城	2	17	17	0	Guam Sunrise	4		15	15	0		
東京世田谷南	2	97	93	-4	Truk Lagoon			8	8	0		
東京城南	3	13	16	3	Pago Bay Guam E	2		23	25	2		
東京山の手	5	70	69	-1	国内89クラブ計			4,364	4,406	42		
東京成城新	5	31	31	0	地区98クラブ計		4,624	4,674	50			
東京青山	3	16	15	-1								

国際ロータリー第2750地区 2020-21年度 ガバナー 福原 有一

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2020-21 Governor Yuichi Fukuhara

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行:ガバナー 福原 有一(2020-21) Yuichi Fukuhara 2020

編集・制作:ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 渡辺 和彦(東京銀座) 副委員長 二神 典子(東京築地) 諸星 宗幸(東京八王子西)

委員 須賀川 誠(東京銀座) 太田 智(東京中央) 高柳 公康(東京六本木)

浅川 立憲(東京八王子西) 端 晶弘(東京立川) 竹平 時彦(東京大森) 荒木 賢一(東京南)

ホームページアドレス

<https://www.rid2750.org>